

“テキストメッセージ”で子ども虐待予防を目指す「きずなメール事業」全体像

自治体の情報と組み合わせて届ける きずなメール原稿の仕組み

「生後〇日」が
喜び・励ましに

不安軽減のへ配慮

タイムリーな助言



複数医師による
医療監修にて、
根拠のある情報

自治体の子育て
支援事業や相談窓口
につなげて、
「孤育て」を防ぐ

〇〇ちゃんが生まれて0歳5ヶ月、誕生から
169日目です。

(きずなメールより)
<今日のママ・パパへ>
【離乳食のはじめどき】…………離乳食を
と思っている人もいるでしょう。離乳食は「必
ずこの時期からはじめる」というものではなく、
5ヶ月に入り…………

離乳食は、赤ちゃんがごくんできるヨーグルト
状にして1種類赤ちゃんアプローチ1杯から始め
ます。おかげが苦手な赤ちゃんは、かぶやにんじん、
玉ねぎなどをやわらかく煮てつぶして
食べさせてみて、飲み込むことに慣れてから
でもよいでしょう。ハチミツは乳児ボリリス症(ボ
リリス毒素による中毒)の原因となり、時には
死に至る可能性があるので、1歳までは与
えてはいけません。…………

(〇〇市より)
お母さん同士おしゃべりをして、情報交換や
リフレッシュをしてみませんか？保健師や栄養
士等に相談もできます。毎月第3金曜日
午後2時00分-…………

幹

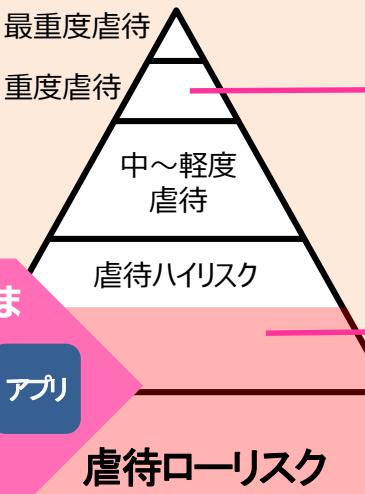
届け方はさまざま



アプリ

枝

すべての人に虐待リスクがある現在、
ローリスク層も含めた
ポピュレーションアプローチが予防になる。



重度虐待の対象者には専門性
を持つ人員による対応、
人的コストが必要

「子ども家庭福祉」及び
「ポピュレーション
アプローチ」としての
「きずなメール事業」

虐待の重症度等と対応内容及び児童相談所と
市区町村の役割（厚労省「子ども虐待対応の手引き
平成25年8月 改正版」）から作成

妊娠期から約4年間、540通の「きずなメール原稿」を
とおして自治体と住民との信頼関係を築く。



事業導入をきっかけに、担当課（母子保健課、子育て支援課など）を中心とした子育て体制の連携強化を加速。

2021年度
活用実績

都内：文京区、中央区、江東区、港区、墨田区、大田区（LINE）、中野区（LINE）
他：松戸市（LINE） 神戸市、長野市（LINE）、相模原市（LINE）、札幌市（アプリ）